

令和2年1月28日

教学企画室決定

岐阜大学における教育の質保証に関する自己点検・評価ガイドライン

1. 目的

本ガイドラインは、岐阜大学における教育の質保証に関する要項（以下「質保証要項」という。）第3条に基づき、岐阜大学（以下「本学」という。）における教育活動の内部質保証体制の構築に資する点検・評価方法を示すことで、本学における教育活動の質向上を図るものである。

2. 対象組織

本ガイドラインは、質保証要項第2条に定める教育研究上の基本組織（以下「基本組織」という。）において、質保証要項第4条から第7条に定める基本組織ごとに行う点検・評価を対象とする。

3. 対象時期

本ガイドラインに基づき各基本組織が行う点検・評価（以下「自己点検・評価」という。）は、前年度の取組み状況を踏まえ行う。

4. 基準

自己点検・評価は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価に係る大学評価基準に基づき、別表1の基準により、別紙1又は別紙2の点検シートを用いて行う。

5. 結果の共有及び公表

自己点検・評価の結果は、教育推進・学生支援機構教学企画室（以下「教学企画室」という。）にて共有するとともに、別紙3又は別紙4を用いてその概要を公表する。

6. その他

本ガイドラインに基づき行う点検・評価活動は、国立大学法人岐阜大学評価業務実施要項第6-2に定める自己点検評価に該当するものである。

各基本組織は、別紙1又は別紙2に点検・評価項目を追加することができる。この場合、別紙3又は別紙4に当該追加項目に関する結果を追加するものとする。

各基本組織は、本ガイドラインに寄らず独自に行う点検・評価活動において別表1に定める基準を網羅していると判断できる場合は、別紙1又は別紙2を用いた自己点検・評価に替え、当該点検・評価活動の結果を用いることができる。この場合、各基本組織は、別表1と独自に行う点検・評価活動との対比表を作成し、事前に教育推進・学生支援機構長の確認を得るものとする。

「岐阜大学評価業務実施要項」及び「岐阜大学における教育の質保証に関する要項（学部・研究科の要項も含む）」に基づいた自己点検評価と大学改革支援・学位授与機構が定める認証評価基準の対応

認証評価基準（領域・基準・分析項目）		本学における自己点検評価※黄色は重要な箇所 ●：3年程度に一度実施　○：毎年実施		
		実施時期	点検内容	備考
分析項目 2-3-1	自己点検・評価の結果（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価をもとに受審した第三者評価の結果を含む）を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果をあげていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること	○	・学部研究科において、内部質保証の取組（PDCA-Cycle）が行われているか？ 検証1 情報を収集し分析した事例はありますか？（C）	別紙A1
分析項目 2-3-2	機関別内部質保証体制のなかで、点検に必要な情報を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に行っており、その取組が効果的に機能していること（より望ましい取組として分析）	○	検証2 実施計画を立てた事例はありますか？（P） 検証3 改善につながった事例はありますか？（D、A）	
分析項目 2-3-3	機関別内部質保証体制のなかで、学生・卒業生を含む関係者からの意見を体系的、継続的に収集、分析する取組を組織的に行っており、その意見を反映した取組を行っていること（より望ましい取組として分析）	○		
分析項目 2-5-4	授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント（FD）を組織的に実施していること	○	・授業の内容及び方法の改善を図るためのFD等を実施しているか？ 検証1 FD等を実施していますか？ 検証2 FD等の実施が授業内容及び方法の改善につながっていますか？	別紙A1
分析項目 5-2-2	学生受入方針に沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証するための取組を行っており、その結果を入学選抜の改善に役立てていること	○	・学生の受入は適切か？ 検証1 入学者の基礎学力が昨年度に比較して同等あるいは向上していますか？ 学部の場合、基礎学力には教学IRデータとして提供されるセンター試験の得点率も参考にしてください。 検証2 検証に基づいて入学選抜の変更を検討又は実施していますか？	別紙A2
分析項目 5-3-1	実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと	○	・入学者数は適切か？ 実入学者数が、入学定員を大幅に超える又は大幅に下回る状況になっていないか？ 検証1 学部では100%≦実入学者数／入学定員≦110%（105%） となっていますか？ 検証2 研究科では70%≦実入学者数／入学定員≦130% となっていますか？	別紙A2
分析項目 6-3-2	授業科目の内容及、授与する学位に相応しい水準となっていること	○	・授業科目の内容及、授与する学位に相応しい水準となっているか？ 検証1 シラバスを組織的に点検しましたか？ 検証2 シラバスに「到達すべき目標」が箇所書きで記載されている授業科目の割合（記載率）は？ 記載率（100%）＝記載されている科目の総数／授業科目の総数 検証3 記載率を高める取組を実施し、改善が図られましたか？	別紙A3
分析項目 6-6-3	成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	○	・成績評価の厳格な実施 検証1 シラバスに記載されている「到達すべき目標」に照らして成績評価を行うことを組織的に確認していますか？ 検証2 成績評価を厳格に行う取組を実施していますか？	別紙A3
分析項目 6-8-1	標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	○	・標準修業年限内の卒業（修了）率等 検証1 学部の標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等を把握し、適正な状況にあることを確認していますか？ 検証2 研究科の標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等を把握し、適正な状況にあることを確認していますか？	別紙A4
分析項目 6-8-2	就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	○	・就職及び進学の状況 検証1 本ワークシートによって就職状況を分析しましたか？ 検証1-2 進路決定率が9割以上ですか？ 検証1-3 専門性に関連する進路が8割以上ですか？ 検証2 独自の書式によって就職率（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学率の状況を分析しましたか？ 検証3 分析によって大学等の目的及び学位授与方針に則して適正なものであること等を確認していますか？	別紙A4
分析項目 6-8-3	卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	○	・卒業（修了）時の学生からの意見聴取 検証1 卒業（修了）時の学生から意見聴取を行っていますか？ 検証2 学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査等、意見聴取を行い、学修成果があがっていることが確認していますか？	別紙A4

「岐阜大学評価業務実施要項」及び「岐阜大学における教育の質保証に関する要項（学部・研究科の要項も含む）」に基づいた自己点検評価と大学改革支援・学位授与機構が定める認証評価基準の対応

認証評価基準（領域・基準・分析項目）		本学における自己点検評価※黄色は重要な箇所 ●：3年程度に一度実施 ○：毎年実施		
		実施時期	点検内容	備考
分析項目 1-2-1	大学設置基準等各設置基準に照らして、必要な人数の教員を配置していること	●	・基準に照らした教員の適正な配置 検証1 大学設置基準等各設置基準に照らして、必要な人数の教員を配置していますか？	別紙B1
分析項目 1-2-2	教員の年齢及び性別の構成が、著しく偏っていないこと	●	・教員の適正な配置 検証1 各職階（教授・准教授・助教）の比率が50%を超えていませんか？ 検証2 教員の平均年齢は45～55歳ですか？ 検証3 女性教員の比率が18%以上ですか？	別紙B1
分析項目 2-2-1	それぞれの教育課程について、以下の事項を機関別内部質保証体制が確認する手順を有していること （1）学位授与方針が大学等の目的に則して定められていること （2）教育課程方針が大学等の目的及び学位授与方針と整合性をもって定められていること （3）学習成果の達成が授与する学位に相応しい水準になっていること	●	・領域6を参照	
分析項目 2-2-2	教育課程ごとの点検・評価において、領域6の各基準に照らした判断が行うことが定められていること	●	・領域6を参照	
分析項目 5-1-1	学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること	●	・教育目標と入試制度に整合性があるか？ 検証1 教育目標とアドミッション・ポリシーに整合性がありますか？	別紙B2
分析項目 5-2-1	学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること	●	・入学者選抜の方法（学力検査、面接等）が入学者選抜の基本方針に適合しているか？ 検証1 アドミッション・ポリシーに基づき入試を実施していますか？	別紙B2
分析項目 6-1-1	学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	●	・教育目標とディプロマ・ポリシーに整合性があるか？ 検証1 教育目標とディプロマ・ポリシーに整合性がありますか？	別紙B3
分析項目 6-2-2	教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	●	・教育課程の編成及び実施の内容が、学位授与方針に定める獲得が期待される能力を学生が獲得できるものとなっているかを確認できるだけの整合性を有しているか？ 検証1 ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに整合性がありますか？	別紙B3
分析項目 6-3-1	教育課程の編成が、体系的性を有していること	●	・カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリー、履修系統図、授業科目ナンバリング等を作成し、教育課程の体系的性を確認しているか？ 検証1 カリキュラム・マップ等を作成していますか？ 検証2 カリキュラム・ポリシーとカリキュラムには整合性がありますか？	別紙B4
分析項目 6-4-2	各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること	●	・適正な授業担当が行われているか？ 検証1 一人あたりの平均コマ数（90分の授業を1コマとする）〇〇を超えていませんか？ 検証2 一人あたりのコマ数が〇〇を超える教員がいませんか？	別紙B5 別紙B6 別紙B7
分析項目 6-4-3	適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること	●	・適正な卒業研究指導が行われているか？ 検証3 1学年の学生教員比が〇以下ですか？ 検証4 成績評価の体制が整っており、成績評価が適正に行われていることを組織的に確認していますか？	別紙B5 別紙B6 別紙B7
分析項目 6-4-4	教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	●		別紙B5 別紙B6 別紙B7
分析項目 6-5-1	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	●	・学生のニーズに即した適切な履修指導・学習相談生のニーズに即した適切な履修指導や学習相談（ガイダンス、担任制、学修成果の組織的な把握と対応、学修計画の指導、オフィスアワーの設定、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導・助言など）を行っていますか？	別紙B8
分析項目 6-5-2	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること	●		別紙B8
分析項目 6-6-1	成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	●	・成績評価基準の策定 検証1 学部研究科の成績評価基準を点検しましたか？ 検証2 学部研究科の成績評価基準が、「岐阜大学成績評価に関する申合せ」及び「岐阜大学シラバス作成ガイドライン」で定めた基準と対応していますか？	別紙B9
分析項目 6-6-2	成績評価基準を学生に周知していること	●	・成績評価基準の周知 検証1 成績評価基準を、学生に対して、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により周知していますか？	別紙B9

認証評価基準（領域・基準・分析項目）		本学における自己点検評価※黄色は重要な箇所 ●：3年程度に一度実施　○：毎年実施		
		実施時期	点検内容	備考
分析項目 6－7－1	大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること	●	・卒業又は修了の要件 検証 1 学則に定められている学科又は課程ごとに卒業要件を学部規程で策定していますか？ 検証 2 学則に定められている専攻ごとに修了要件を研究科規程で策定していますか？	別紙B9
分析項目 6－7－3	策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること	●	・卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）の周知 検証 1 卒業（修了）要件を、学生に対して、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により周知を図っていますか？	別紙B9
分析項目 6－7－4	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること	●	・卒業又は修了の認定 検証 1 卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していますか？	別紙B9
分析項目 6－8－4	卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	●	・学修成果に関する卒業生（修了生）からの意見徴収 検証 1 卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取を行う手順を策定していますか？ 検証 2 卒業（修了）生から意見聴取を行い、対応策を検討していますか？	別紙B10
分析項目 6－8－5	就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	●	・学修成果に関する就職先等からの意見聴取 検証 1 就職先や進学先等の関係者への意見聴取を行う手順を作成していますか？ 検証 2 就職先や進学先等の関係者への意見聴取を行い、対応策を検討していますか？	別紙B10